

北海道浜小清水産ヒョウモンチョウ (*Brenthis daphne iwatensis*) の染色体数

斎藤和夫

弘前大学理学部生物学教室
〒036 弘前市文京町 3

On the Haploid Chromosome Number of *Brenthis daphne iwatensis*
(Lepidoptera, Nymphalidae) from Hama-koshimizu, Hokkaido

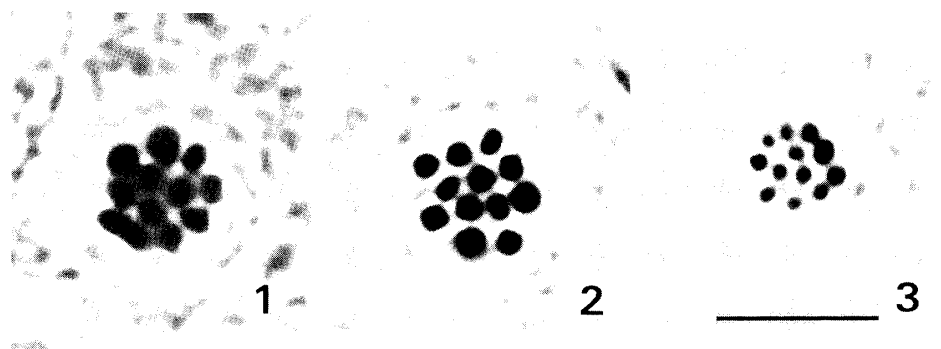
Kazuo SAITOH : Department of Biology, Hirosaki University, Hirosaki, 036 Japan

北海道千歳市美々のヒョウモンチョウ (*Brenthis daphne iwatensis*) の雄は染色体数が $2n, 24$; $n, 12$ (I, II) であった (斎藤他, 1985)。その後, 斜里郡小清水町浜小清水産のヒョウモンチョウ雄でも $n, 12$ (I, II) の染色体数を確めたので報告する。

1985 年 7 月 26 日に浜小清水で採集されたヒョウモンチョウ雄 10 頭 (Nos. 5–14) の精巢を P. F. A. -3 液で固定後, 研究室でパラフィン切片標本 (8μ , Heidenhain の鉄ヘマトキシリン染色) をつくり精母細胞の染色体を観察した。所検の 10 頭中, 3 頭 (Nos. 6, 10 及び 13) で第 1 分裂と第 2 分裂の中期染色体を観察できたが, ほかの 7 頭には中期像はみられなかった。これらの 3 頭で観察した中期像数は No. 6 が 34 (第 1 分裂中期; 27, 第 2 分裂中期; 7), No. 10 は 93 (58, 35), No. 13 が 26 (1, 25) で, 合計 153 の中期像である。染色体数には変異はみられず, 第 1, 第 2 分裂とも $n, 12$ (図 1–3) であった。12 染色体のうちの 2 染色体が, 残りの 10 染色体よりも大型である (図 1 および 2)。この関係は美々産雄と同様である。

以上の観察結果から, 北海道では斜里郡小清水町にも $n, 12$ のヒョウモンチョウ個体群が生息していることがわかった。更に道内各地の個体群の調査が望まれる。なお, これらの雄はいずれも筆者の研究室に展翅標本として保存されている。

研究材料の採集と処理に協力下さった当研究室の鈴樹亨純氏および有益な教示をいただいた館山一郎氏に心からお礼を申し上げる。



Figs. 1–3. Spermatocyte chromosomes of *Brenthis daphne iwatensis* from Hama-koshimizu, Hokkaido. Sectioned. Twelve chromosomes in each. 1. Metaphase I (No. 6); 2. *Ditto* (No. 10); 3. Metaphase II (No. 10). Scale bar: ca. 5μ m.

文 献

斎藤和夫, 阿部東, 熊谷義則, 1985. 日本のコヒョウモン属 (*Brenthis*) の染色体. I. 北海道産ヒョウモン
チョウ (*Brenthis daphne iwatensis*) の染色体再検討. 蝶と蛾, **36**: 83-86.

Summary

Males of *Brenthis daphne iwatensis* from Bibi, Hokkaido are characterized by $2n$, 24- and n , 12-karyotypes (SAITOH *et al.*, 1985). Its meiotic chromosomes were examined again with adult males collected at Hama-koshimizu, Hokkaido, to confirm the haploid chromosome number established for the Bibi males.

Thus, the Hama-koshimizu males of this subspecies were also found to have an n , 12-karyotype (Figs. 1-3); 153 spermatocytes in metaphase (metaphase I, 86; metaphase II, 67) were observed on three males.